

# 玄参・土鼈甲の加味で 症状の改善を認めた 慢性膵炎の1例

峯 尚志



# はじめに

- 【慢性膵炎は膵における炎症が持続する疾患で、一般的には非可逆性、進行性の病態であり、慢性消耗性疾患の側面を持ち、西洋医学的な診断治療に加えて、漢方治療の適応となる場合も多い。
- 漢方治療においては柴胡桂枝湯を中心に、疎肝湯、半夏瀉心湯、延年半夏湯、安中散加茯苓、六君子湯加味方などが証に応じて投与されてきた。
- 今回、西洋医学的処方と柴胡桂枝湯を処方されるが、痛みのおさまらない難治性の慢性膵炎に、土別甲、玄参を加味した漢方治療を行い、病状の回復をみたので一例を報告する。



# 症例 47才、男性

## 現病歴)

X-2年より慢性膵炎にて大学病院に通院中。飲酒はやめ、油物を控えているが、少し食べると心窩部が痛む。痛みのため食事がとれずこの6ヶ月で体重が83kgから約20kgの体重減少を認め、西洋薬、柴胡桂枝湯エキスの効果もなく、友人の紹介で当院を受診する。

## 既往歴)

38才、脳梗塞（後遺症なし）、43才 痛風



# 現症

- 身長177cm、体重63kg
- 職業はシステムエンジニア。本業で多忙な上、管理職も兼ねており人間関係のストレスも多い。
- 痛みは心下部とその裏の背中での痛み、体中が痛いこ症ともある。過労や、精神的ストレス、食べ過ぎで状態悪化する。
- 自覚症状として、胸脇部の慢性寒節折床満的な微感あり、だ線間自も心下部が張的に寒ま痛み、返かし、強い。



# 検査所見

WBC 3300/ $\mu$ L, RBC 525 $\times$ 10000/ $\mu$ L, Hb 15.5g/dl,  
Ht 48.4%

AST 24u/L, ALT 26u/L, ALP 249u/L, LDH 204u/L

TP 7.1g/dl, Alb 4.7g/dl

TG 84mg/dl, HDL 11.4mg/dl, LDL 45mg/dl

Na 144mEq/L, K 4.4mEq/L, Cl 104mEq/L

BUN 11.4mg/dl, Cr 0.91mg/dl, BS 73mg/dl, CRP(-)

腓型アミラーゼ 61u/L, トリプシン 759u/L



# 消化器内科の処方

- カモスタットメシル酸塩100mg 6錠分3
- パンクレリパーゼ顆粒300ミリグラム分包 6包分3
- エソメプラゾールマグネシウム水和物20mg 1カプセル  
眠前
- ジメチコン40mg 3T分3
- ツムラ柴胡桂枝湯エキス顆粒 7.5g分3
- ترامドール塩酸塩・アセトアミノフェン配合錠 4錠  
分4
- デュロキセチン塩酸塩 20mg 1C分1



# 東洋医学的所見

望診)

眼力あり、結膜やや充血、怒りと不安が挟雑した表情

舌) やや紅色、白膩苔

脈) 弦

腹) 腹力4/5 両側胸脇苦満有り、心下痞鞭有り

左滑肉門周囲の深部に硬さがある



# 以上の所見より

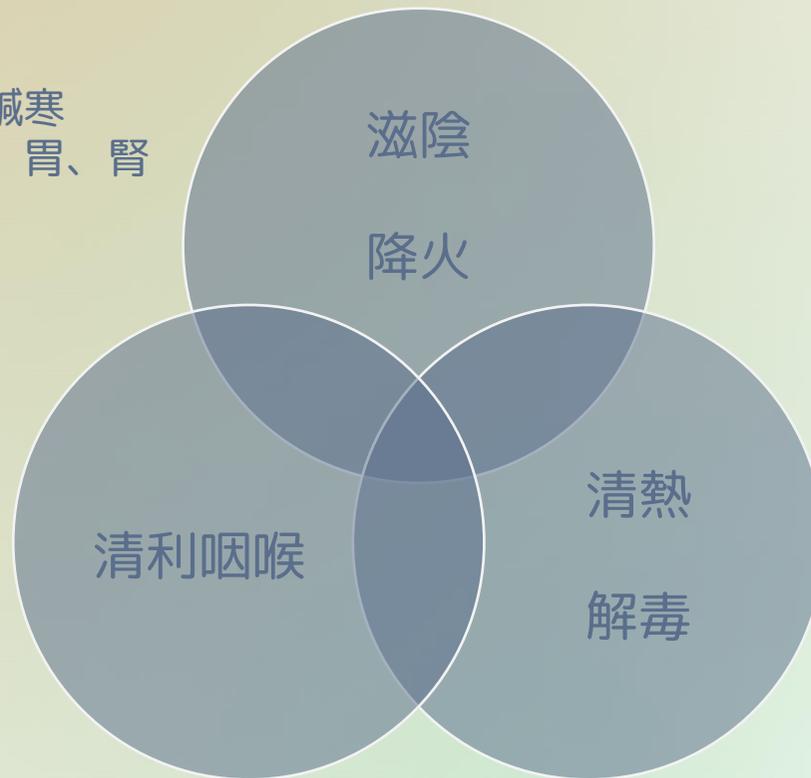
- 柴胡、半夏、黄芩、芍薬、枳実、甘草、大黄、生姜、大棗の大柴胡湯合四逆散プラス半夏厚朴湯の加減をベースに処方する。
- 釣藤鈎8、柴胡7、黄芩3、芍薬8、枳実3、甘草3、大黄1、蒼朮6、厚朴6、半夏6、大棗3、甘草3、生姜1.5、香附子3、蘇葉3
- この処方では心下部の圧痛改善、腹痛も一日2、3回に軽減するも、心下部の自発痛、背部痛、倦怠感はなくなる。



# 玄参

ゴマノハグサ科の  
ゲンジンの根

性味：苦鹹寒  
帰経：肺、胃、腎



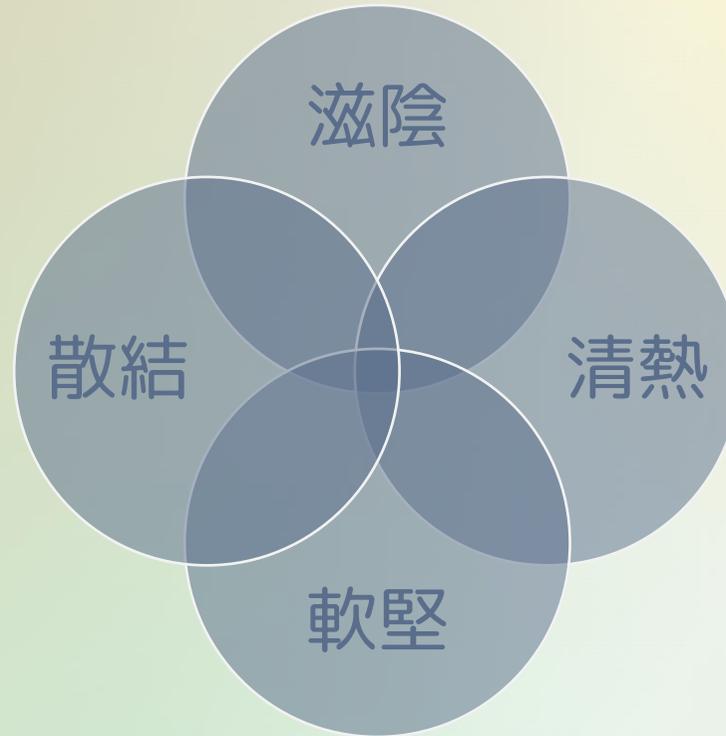
補陰すると同時に血分にまで到達した熱を清解する



# 土別甲

スッポンの背中側の甲羅

性味 鹹、寒  
帰経 肝、脾、腎



腹の底にある固まりを軟らかくする作用



# まとめ

- 本例は膵炎の発症から2年間、痛みに苦しみ、体重減少とともに、体力を消耗し、抑うつ状態にも陥っていた。東洋医学的には肝鬱気滯とともに陰虚陽亢による熱感とめまいが生じ、また膵臓は後腹膜に位置する臓器で体の深部にあるため、長引く炎症はしばしば血分に達し、難治化したものと思われる。そこで血分の清熱作用を持つ玄参や、補陰すると同時に軟堅散結の作用を持つ土鼈甲を併用したことが症状寛解への道筋を開いたものと考えている。

